

鶴城中だより

責 校 長 船 津 巧
No.14

私は私・僕は僕

みんな持っているから

思春期を迎え、何か買って欲しいものがある時「みんな持っている。だから必要なのだ。」という言葉が発する子どもたちがいる。「みんな持っている」の「みんな」とはいったい誰の事だろう。なぜ、「みんな」が持っていれば自分も持つ必要があるのだろうか。

4月から中学生になった芦田愛菜(12)さんは、女優でありながら猛勉強し、東京都内の難関中学校に入学したらしい。彼女の支えになつた

言葉だそう。どんなにつらいときでもこの言葉を忘れることなく机に向かい、受験勉強をしたらしい。人気女優であるが故に、いろいろな制約もあり、時間も限られたことだろう。芦田さんの決意と頑張りには頭が下がる。さて、新学期を迎えるに当たり、再度スマホ等について考えたい。「欲しい」と「必要」両方とも似ているが全く違う。「欲しい」とは、何かを自分のものにした、手に入れたいと思う事。一方、「必要」はどうしてもいる、なくてはなら

ないという事である。また、何が必要で何が不要でないかは一人一人違うのである。子どもにも「みんな持っている」と言われ、スマホを買ってやったが、夜中遅くまで触っており勉強がおろそかになっている。という声は後を絶たない。「欲しい」というだけではなく本当に「必要」とするわけを聞く事ができていたのか? だめと言われスマホを諦めるのも、本人にとっては貴重な体験になるはずだ。便利なツールが、彼らの本分である勉強の邪魔をする事になってはいけない。

ますがよろしくお願いいたします。

【杉本 秋良(あきら)先生】
① 和水町立三加和中学校
② 宇土市立鶴城中学校
② わかる授業、楽しい授業を目指して頑張ります。子どもたちの夢を叶えるため、目標達成のためのお手伝いを精一杯やっています。よろしくお願ひします。

【下田 ヨシ子 先生】
① 山鹿市立山内小学校
② 植木町立鹿南中学校
③ 子どもたちに笑顔でおいしい給食を提供していきたいと思ひます。地域の方ともコミュニケーションを取っていききたいと思ひますのでどうぞよろしくお願ひ致します。

【中満 一代 先生】
① 平小城小学校
② 北九州市立風師中学校
③ 新しい出会いと再会を楽しみにしています。子どもたちの夢が叶うようしっかりサポートしていきます。

【佐々木 千鶴 先生】
① 黒石原支援学校(5年前)
② 菊池市立菊池北中学校
③ 生徒たち一人一人と保護者の方々の心に寄り添った支援ができればと思ひます。よろしくお願ひします。

新学期の抱負

始業式で発表してくれた抱負の要約を掲載します。

(二年 瀬戸さん)

丁寧な字でノートをかきやすくとめるようになったことで、ノートを直すようになり成績がアップ。部活動も技術が上達。練習試合で課題が見えた。2分前行動や先生の手伝いなど、自発的な行動ができた。二年生では、積極的に様々な場面で前に出て行くこと。先輩の教えを後輩にしっかり伝えていく。中学校に慣れたからこそ、去年できなかったことにすすんで取り組む。

(三年 池田さん)

三年には、全ての行事が最後となる。後ろ姿で後輩を引っ張り、伝統のバトンを渡したい。受験生として、苦手な教科の克服。早寝早起き朝ご飯の習慣を身につけること。休みの日も、規則正しく時間を有効に活用すること。手伝いもしっかりする。最上級生として、受験生としての自覚をもって、やるべきことをやる。ニュアンスが変わってしまったかもかもしれません。

入学おめでとう

11日たくさんの方の来賓の皆様がご臨席の下、入学式を行いました。今年、鶴城中始まって以来、最少の入学者でした。

この10名の新入生を迎え、今年は全校生徒44名です。市内の小中学校で最も小規模な学校となりました。

人数は少ないけれど、全校生徒の一人一人が、鶴城に来て良かったと思え

るような一年にしたいと思ひます。今年も目指す学校像は、

みんなが来たいと思う学校
みんなが期待する学校
みんなを鍛える学校
みんなの記憶に残る学校
です。

学校と保護者、地域が互いに手を取り合つて、さらに輝く生徒たちを育てていきたいものです。皆様のご支援とご協力をよろしくお願ひいたします。



転入教職員紹介

① 前任校 ② 出身中学校
③ 保護者と地域の方へ
【藤本 喜士(よしお)先生】
① 人吉市立第二中学校
② 米野岳中学校
③ 山鹿市出身です。地元勤務することができうれしさと楽しみで一杯です。輝く子どもたちの育成と鶴城中の有終の美に向けて、日々の教育活動に励みたいと思ひます。いろいろとお世話になり